

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
分担研究報告書

若年女性の意識、食行動、身体活動の実態把握（インターネット調査）

研究代表者：緒形 ひとみ 広島大学大学院人間社会科学研究科・准教授

研究分担者：能瀬 さやか 東京大学医学部附属病院・特任講師

永井 成美 兵庫県立大学環境人間学部・教授

萱場 桃子 神経研究所睡眠学研究室・客員研究員

清野 健 大阪大学大学院基礎工学研究科・教授

研究要旨

若年女性およびその保護者を対象に、生活習慣おとびやせの実態を明らかにすることを目的とし、インターネット調査を実施する。現在は、調査項目を精査している段階である。

A. 研究目的

若年女性およびその保護者を対象に、生活習慣おとびやせの実態を明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

1. 調査対象者と調査手順

インターネット調査会社（アイブリッジ株式会社の Freeeasy）に子供がいると登録している 30～60 歳の男女^{注1}に対し、スクリーニングを実施する（図 1）。スクリーニングの結果、すべて「はい」と回答した男女（女

子中学生または女子高校生の親）に対して後日本調査を依頼し、女子中学生または女子高校生が Freeeasy のサイトで回答する。同時に、保護者（母親）にも Freeeasy のサイトで回答を依頼する。

女子大学生については、チラシ等の QR コードより任意でデータを取得する。質問紙に答えた大学生の母親についても子ども経由で回答を依頼する。

（倫理面への配慮）

中学生と高校生については、親が研究に同意しない場合は本調査には進むことはなく、親の同意がある場合のみ本調査に進む。

2. 調査項目

現時点での候補は、年齢、身長、体重、都道府県（都市部とそれ以外）、通学時間、平日と休日の起床・就寝時刻、平日の出発・帰宅時刻、運動習慣、病気や睡眠、食事・排便リズム、現在・理想の体型、月経、眠

^{注1} 「30 歳～60 歳以下で子供あり」と条件を絞り込むと、116,099 人の回収が見込まれる。ただし、子供の年齢で対象者を絞り込むことができないため、女子中学生または女子高校生の子供がいるか否か、対象となる中学生または高校生が質問に答えることができるかを事前にスクリーニングしてから本調査を行う。

気、登校の状況、食事や体重測定・排便の回数、食物摂取頻度を問う予定である（調査項目が確定次第、広島大学疫学研究倫理審査委員会の審査を受ける）。

C. 研究結果

調査前のため、なし。

D. 考察

調査前のため、なし。

E. 結論

調査前のため、なし。

F. 健康危険情報

調査前のため、不明。

G. 研究発表

1. 論文発表
該当なし。

2. 学会発表

該当なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし。

2. 実用新案登録

該当なし。

3. その他

該当なし。

1

お子さまに中学生または高校生の女の子がいますか？*回答必須

- ▼

次へ

COPYRIGHT © iBRIDGE Corporation. All Rights Reserved.

2

中学生または高校生のお子さま本人が質問に答えることができますか？*回答必須

- ▼

次へ

女子中学生と女子高校生の体格に関するスクリーニング調査

「若年女性の生活習慣と体格および月経を含む健康との関係－インターネット調査－」に答えていただけの方をスクリーニングするため実施します。
本スクリーニング調査は、30～60歳までの方で子供がいると登録している方にお送りしています。
女子中学生または女子高校生がいて、対象となる本人がインターネット経由で答えることができると回答した保護者に対して、後日本調査を依頼します。

引き続き、アンケートにご協力いただけますか。

はい

いいえ

COPYRIGHT © iBRIDGE Corporation. All Rights Reserved.

図1. インターネットのスクリーニング画面